

株式会社エリアデザイン 御代田町に新工場開設



社名	株式会社 エリアデザイン
代表取締役	川崎 美智雄
創立	1991年11月1日
資本金	1,000万円
売上高 (2016年)	約7億9,000万円
従業員数	20名

8月1日からは、やまゆり工業団地内のシチズンファインデバイス株式会社やまゆり事業所跡地に、千葉県柏市に本社を置き、産業用機械の設計・製造を手がける株式会社エリアデザインが軽井沢事業所として新工場を開設しました。今回、川崎美智雄社長から構想などについて、直接お話を伺うことができました。



御代田町の重要課題でもある企業誘致。首都圏から地方への本社機能の移転

や研究開発拠点の拡充など、地方創生に向けた取り組みの加速化を図ることを目的とし、新たな企業誘致促進策として、昨年12月に工場誘致地区内での用地取得に対する補助制度を創設しました。

株式会社エリアデザインは1991年に千葉県柏市の現本社で創業、一昨年には茨城県笠間市に新事業所・加工工場を新設、堅実に業績を伸ばし、このたび国内3番目となる軽井沢事業所開設となりました。主にスマートフォンなどに使われる薄いフィルム状の基盤を作る装置を製造しており、世界でもトップクラスの技術力を誇ります。川崎社長は御代田町への進出を決めた理由として、環境の良さ、国内各地へのメンテナンス部門の拠点となる地理的条件、施設の付属設備が充実していることなどを挙げています。また、今後は新製品の開発、生産拠点として新工場を位置付けたいと抱負を述べています。初めて工場を案内してもらいましたが、「この充実した付属設備を最大限に活かした工場にし、お客様からの要望に応えるべく、試験・研究を重ね、さまざまなことに挑戦していきたい」と熱く語ってくれました。



川崎社長より工場内の説明を受ける茂木町長



本格稼働へ向けて準備をする職員

新工場の始動直後、東信地区から新たに雇用された12名の職員と共に、備品の整理など準備作業に追われている中で訪問となりました。川崎社長は「まだ会社のルールすら決まっていない。やらなければいけないことがたくさんあって、大変ですが、一つずつクリアし、いち早く本格稼働できるようにしたい」とも述べています。まだ、スタートしたばかりですが、川崎社長を含む社員の方々は、新工場の本格稼働に向け、希望に満ち溢れ、生き生きとした姿が印象に残る訪問となりました。町では創設した用地購入補助制度による初めての支援に向け、工業振興審議会での審議を進める予定です。